

# 落花生新品種を軸とした産地活性化事業

実績額 4,915 千円 (うち交付金 2,458 千円)

## 1 事業の目的・概要

千葉県育成の新しい落花生「Qなつつ (千葉P114号)」のデビューを契機に、新品種の販売促進や種子生産への省力化機械の導入を県・市・生産者・民間事業者等と連携しながら進め、良食味落花生の生産の拡大等による落花生産地の活性化を図る取組を実施した。

## 2 事業の内容

### (1) 新品種の種子生産体制の構築

落花生新品種の種子生産拡大を目指し、一般栽培用に開発された省力化機械が採種栽培に導入できるか検証するため、採種及び収穫作業の現地実証試験を実施するとともに、成果については、実演会を通じて農業者に周知を図った。

使用播種機：播種作業機(あけマルくん)

省力化掘取機：朝日製作所 A P U 4 5 0 - 2

(R 元年度実績) 実演会の開催 1 回：参加者数 6 8 名



省力掘取反転機の実演

### (2) 新品種を活用した県産落花生のPR・プロモーション

都内イベントスペースにおいて、メディア関係者やインフルエンサーを対象としたPRイベントを開催した。また、民間事業者等とタイアップし、県産落花生をアピールした。

(R 元年度実績) PR イベント：1 回 (令和元年 11 月 11 日)

タイアップ：山崎製パン「Qなつつランチパック」、千葉県調理師大会、実りのフェスティバル、期間限定アンテナショップ 他



都内イベントでのPR

### (3) 新品種販売促進

#### ア 販促資材の配布

「Qなつつ」など、県産落花生を紹介する販促資材(付箋)を作成し、各種イベントで消費者に配布した。

(R 元年度実績) 販促資材配布数：付箋 600 部

#### イ 新豆キャンペーンの開催(落花生とれたてフェア)

新豆が発売される時期にキャンペーンを開催し、県産落花生の品種紹介や県産落花生の消費動向についてアンケートを実施した。

(R 元年度実績) キャンペーンプレゼント応募総数：279 件



落花生フェアポスター

事業名	落花生新品種を軸とした産地活性化事業	
担当課	農林水産部生産振興課 農林水産部流通販売課	
総合戦略記載箇所	大項目：“一人ひとりの働きたい”がかなう千葉づくり 中項目：②力強い農林水産業の確立（マーケットに対応した力強い産地づくり）	
<b>【本事業における重要業績評価指標（KPI）】</b>		
指標名	実績値	目標値
既存品種（ナカテユタカ）から新品種（Qなつつ）に置き換えた場合の販売増加額	14,450 千円	12,000 千円
<b>【事業効果の判定】</b>		
<b>①地方創生に非常に効果的であった</b> （例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合） <b>②地方創生に相当程度効果があった</b> （例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合） <b>③地方創生に効果があった</b> （例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合） <b>④地方創生に対して効果がなかった</b> （例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言い難いような場合）		
<b>【要因・課題】（取組推進に当たっての問題点、問題点を踏まえた課題）</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般栽培用に開発された播種機や掘取機が採種栽培にも導入可能であることがわかったが、導入のためには収益力の向上が必要である。</li> <li>新品種「Qなつつ」の効果的なPRができたことで、消費者の関心が高まり、好調な販売につながった。今後も継続したPRが必要である。</li> </ul>		
<b>【改善策・取組方針】（要因・課題を踏まえた具体的な取り組み（令和2年度に向けた取組の修正・改善））</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>県単補助事業である農産産地支援事業等を活用した技術導入支援を行う。</li> <li>県産落花生の需要を拡大するため、販売方針を踏まえ、県産落花生全体のPR方法を検討・実施していく。</li> </ul>		